

問一

- | | | | | |
|--------|--------|--------|------|------|
| ① 誘発 | ② けつじょ | ③ てっこう | ④ 整然 | ⑤ 営 |
| ⑥ へんぼう | ⑦ 矛盾 | ⑧ たんてき | ⑨ 導入 | ⑩ しさ |
| ⑪ 前提 | ⑫ しゃだん | ⑬ ろうひ | ⑭ 容易 | |

問二 _____ 傍線部(A)「目をそらす」、(B)「一線を画す(る)」を使って、それぞれ短文を作りなさい。

(A)「目をそらす」

- 彼女は恐ろしい光景から目をそらした。
- 予防接種を受けたが、注射針から思わず目をそらした。

(B)「一線を画す(る)」

- 彼女の研究は、新たな理論を提示し、従来の検証の枠組みとは一線を画するものだった。
- A町の児童福祉対策は、母子・父子家庭に手厚く、他の市町村とは一線を画す内容だった。

問三 本文中にある(1)「非人間的な近代都市の理念」とはどういうことか、1000字以内で具体的に説明しなさい。

(例)

- 自由な建築群と自動車による芸術作品としての都市であり、ゾーニングされ、すべての建物が直線的で幅の広い自動車道路に面しているが、人々が住み、生活を営み、人間的な活動をする場としての都市ではない。(九七字)

(例)

- 近代都市は、抽象派の芸術と二十世紀の輝ける工業水準とが結合されているが、人は設計家の意図するままに動くロボットとしての役割を果たすにすぎず、生活を営み、人間的な活動をする場としての空間ではない。(九八字)

*ル・コルビュジエに代表するの近代的な都市理念を説明する。

問四 「こ」でいう(2)「論理的、演繹的に導き出された」と対になる言葉を示しなさい。

(例)

- 帰納的、経験的に導き出されたもの
- 精力的に調査して回り、そこから帰納的、経験的に導き出されたもの

問五 本文中にある(3)「百八十度の思想的転換」とは、どのようなことが、一五〇字程度で説明しなさい。

(例)

- ジェイコブスの四大原則は、ル・コルビュジエの考え方を真正面から否定し、土木建築産業の利潤追求型の計画都市、ないしは行政官僚の俗物的思想から生み出された都市計画とも明確に一線を画した。人々の生活の必要から自然発生的に形成された街路が望ましいということが強調され、再開発にさいして古い建物ができるだけ残そうと考えた。(一五七字)

(例)

- ル・コルビュジエの近代的都市理念を否定し、人間的な魅力を備えた新しい都市理念のあり方を示唆した。人々の生活の必要から自然発生的に形成された街路が望ましいということが強調され、真直ぐで広くて長い街路を否定し、都市の多様性や歩行者が自動車通行によって影響を受けないで歩くことができる環境を重視する考えを示した。(二五四字)

*ジェイコブスの「新しい都市理念」をル・コルビュジエの理念と比較しつつ説明する。

問六 著者は「日本の大都市」について、(4)「多くはすでに『くるま社会』の限界に到達しつつあって、いま、ジェイコブスの転換をおこなわなければ、都市における社会的不安定性、文化的俗悪は、不可逆的な被害を私たちに与えることになることは間違いないであろう」と述べています。これについて、あなたの意見や感想を二〇〇字程度で自由に書きなさい。

- 字数は一八〇〜二二〇字の範囲まで。一八〇字以下は減点